



## 定量的管理のための測定の導入

この2日間のコースでは、下記の内容を学習します。

- ビジネス環境およびビジネスゴールの分析方法を理解し、意味のある適切な測定を定義する
- 効果的な測定計画を作成し、測定結果を改善のために利用する

### ■ コースの目的

このコースでは、次のことを学びます。

- 組織で事業レベルの測定プログラムを確立する
- 事業目標の達成を支援する適切な測定の定義方法を理解する
- 測定の取組み方法を理解する
- 事業向けの測定計画の策定方法を理解する
- 環境の分析、ゴールの特定、測定の導出を実際に経験する

### ■ コースの成果

コースに参加すると、下記のことを習得できます。

- 効果的な測定プログラムの概念と効用を理解する
- 事業目標を支援する測定を特定する
- 測定計画の作成方法を認識する
- 測定の結果を事業の改善のために利用する方法を理解する

### ■ コース形式

2日間のコースには8つのモジュールと8つの演習が含まれています。習得内容を実際に組織で適用できるように、技法の実践に重点が置かれています。コース教材は、プレゼンテーション資料、その他追加資料になります。

### ■ 対象者

- 組織の事業目標を理解し、ビジネスプロセスおよび技術プロセスに責任を持つ方
- 戦略的情報提供を行い、責任を持つ上級管理者やその他の測定利用者
- 測定を行い情報を提供したり、測定に影響を与えるプロジェクトマネージャ、技術マネージャ、および品質マネージャ

### ■ 準備作業

準備は特に必要ありません。

### ■ コース内容

#### モジュール1 - 概要

- はじめに/コースの範囲

#### モジュール2 - メトリクスへの取組み

- 手法の概要

#### モジュール3 - ステップ1: 評価

- ビジネスゴールを明確化しレビューする
- ビジネスプロセスの付加価値連鎖
- ゴールが事業に適していることを確実にする

演習1 - 事業の背景を確立する

演習2 - 付加価値連鎖を確立する

演習3 - ゴールリストを確立する

#### モジュール4 - ステップ2: 分析

- ゴールを分析し、サブゴールを形成する
- ゴールに関連する測定を特定する
- GQM手法を用いる

演習4 - 優先度の高いゴールを確立する

演習5 - 優先度の高いゴールのゴールツリーを確立する

#### モジュール5 - 測定の導出

- ゴールツリーを用いて測定を導出する

演習6 - 測定を導出する

#### モジュール6 - 測定計画の作成

- 測定計画書テンプレートを用いる
- 適切な測定定義の重要性
- 収集手法の定義
- 分析のためのデータ提示手法

演習7 - 測定定義を作成する

#### モジュール7 - 測定の利用

- 収集および分析のための工数を計画する
- 測定を提示、配信する

演習8 - 測定に優先順位をつける

#### モジュール8 - まとめと結論

- コースの所見を統合する
- 結果を正しく記録する
- 今後の対応について責任を確立する

#### 質疑応答および終了

### ■ コース講師

測定に関して経験豊富な講師が担当いたします。